

Title	三邊金藏博士年譜及び主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	
Publication year	1962
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.5, No.5 (1962. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19621231-04044901

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三邊金藏博士年譜及び主要著作目録

一、年 譜

明治一三年三月七日
明治三六年三月
明治四一年三月
明治四一年四月
明治四二年四月
明治四三年二月
明治四五年八月
大正四年八月
大正四年九月
昭和五年四月
昭和六年九月
昭和九年三月
昭和九年四月
昭和一三年四月
昭和一七年七月
昭和一八年二月
昭和一九年四月
昭和一九年四月
昭和二〇年一〇月
昭和二五年七月
昭和二七年四月

神奈川県足柄下郡小竹、三邊惣吉長男として生まる。

立教中学校卒業。○四月慶応義塾大学理財科に入学。

慶応義塾大学理財科卒業。

慶応義塾大学理財科助手となる、同時に商工学校教員となり英語と簿記の講座を受け持つ。

慶応義塾大学予科教員となり経済原論を担当。

前田せいと婚姻。○慶応義塾大学本科で商業学研究を講ず。

慶応義塾大学留学生として「商事経済学」研究のため英・独両国へ赴く。

留学より帰国。直ちに気賀と経済政策を分担（大正九年まで）するかたわら、義塾で初めて会計学を開講

し、研究会とドイツ語（のちにドイツ経済学）を担当。

慶応義塾大学経済学部教授となる。

慶応義塾大学経済学部長に就任する。○英語経済学を担当。

経済学博士の称号を受く。

慶応義塾大学経済学部長を退任する。

新設された慶応義塾大学学生係主任（翌一〇年四月から学生局主任主事と改称）となる。

会計学特殊（内容は会計監査）を担当。

慶応義塾大学学生局主任主事を辞す。

立教大学総長事務取扱となる。

立教大学総長となる。

慶応義塾大学名誉教授となる。

立教大学総長の職を辞す。

日本会計研究学会顧問となる。

慶応義塾大学に復帰する。○経営分析、会計学特殊（株式会社社会会計実習）、会計監査、研究会等を担当。大

学院では会計学特殊研究（内部監査論）を担当。

昭和三〇年四月
昭和三七年四月二五日
昭和三七年四月二八日

千葉商科大学教授、商経学部長兼務となる。
午後八時十五分自宅において脳卒中の為逝去さる。
午後一時より東京都港区芝栄町日本聖公会聖アンデレ教会にて葬儀。

二、主要著作目録

(1) 主要著書

(出版年月)	(書名)	(発行所)
大正一四年一月	近世簿記講義	同文館
昭和二年四月	会計学概論	丸善
昭和五年四月	会計学	丸善
昭和五年二月	会計監査	千倉書房
昭和一〇年五月	会计学(増訂版)	丸善
昭和二年四月	会计学(改訂版)	丸善
昭和一三年二月	経営分析	東洋出版書
昭和二年一月	経営分析の基礎理論	三田書店
昭和二年六月	簿記通論	税務経理協会
昭和二年七月	会計学大意	税務経理協会
昭和二年四月	財務諸表分析	春秋社
昭和二年一月	会计学を索ねて	税務経理協会

(2) 主要論文

- 一、看却せられたる経済学上の緊要問題 (三田学会雑誌第一卷第五号 明治四二年六月)
- 一、(同右) (続き) (三田学会雑誌第二卷第二号 明治四二年九月)
- 一、新たに貸借理論を闡明して貸借対照表の新形式に及ぶ (三田学会雑誌第九卷第一号 大正四年一月)
- 一、貸借対照表に於ける資産評価の原則に就て (三田学会雑誌第一〇卷第一号 大正五年一月)
- 一、年金法に依る減価償却を論ず (三田学会雑誌第一〇卷第六号 大正五年六月)

- 一、年金法に依る減価償却に就て池田実氏に答ふ（三田学会雑誌第一一巻第七号 大正六年七月）
- 一、経済原理四分法の弁（上・下）（三田学会雑誌第一二巻第一・二号 大正七年一・二月）
- 一、会計学とは何ぞや（三田学会雑誌第一二巻第七号 大正七年七月）
- 一、Tableau Economique（経済学）の解説（三田学会雑誌第一二巻第一〇号 大正七年一〇月）
- 一、大田氏の批評に答ふ（三田学会雑誌第一三巻第三号 大正八年三月）
- 一、我商法の評価規定を論ず（三田学会雑誌第一三巻第一号 大正八年一二月）
- 一、産業管理と労働組合（三田学会雑誌第一四巻第七号 大正九年七月）
- 一、アダム・スミスの価値論に就て（三田学会雑誌第一五巻第二号 大正一〇年二月）
- 一、組合社会主義に対するウイザアスの批評（三田学会雑誌第一五巻第七号 大正一〇年七月）
- 一、第三者保護と独逸商法第二六一條（会計第一巻第一号 大正一三年一月）
- 一、マルクスの二つの価値と平均利潤率問題（三田学会雑誌第一八巻第一号 大正一三年一月）
- 一、マルクスの価値論に対する Bor の批評（三田学会雑誌第一八巻第二号 大正一三年二月）
- 一、アダム・スミスの価値論争に於ける難関に就て（三田学会雑誌第一八巻第七号 大正一三年七月）
- 一、カール・デイルのアダム・スミス論（三田学会雑誌第一八巻第九・一〇号 大正一三年九・一〇月）
- 一、利益を以てする株式の消却に就て（三田学会雑誌第一九巻第三号 大正一四年三月）
- 一、ケネー「経済表の範式」に就て（三田学会雑誌第二〇巻第四号 大正一五年四月）
- 一、有機的貸借対照表に就て（三田学会雑誌第三四巻第一〇号 昭和一五年一〇月）
- 一、企業の再建と経営分析（三田学会雑誌第四〇巻第一〇、一一、一二号 昭和二二年一〇、一一、一二月）
- 一、公認会計士の機能と監査役の職能（税経通信第三巻第一号 昭和二三年一二月）
- 一、貸借対照表監査について（産業經理第九巻第一号 昭和二四年一月）
- 一、企業の実質資本維持について（企業会計第一巻第一号 昭和二四年一月）
- 一、原価補償の自主性について（企業会計第一巻第八号 昭和二四年八月）
- 一、剰余金の源泉とその処分について（企業会計第二巻第一号 昭和二五年一月）
- 一、合理的資本構成比率の提唱（企業会計第三巻第四号 昭和二六年四月）
- 一、簿記の数学的解説（一・二）（簿記第二巻第六・八号 昭和二六年六・八月）
- 一、利益償却を以てする株式配当（企業会計第四巻第二号 昭和二七年二月）

- 一、「帳合之法」を介して福沢先生を偲ぶ（簿記第四卷第六号 昭和二八年六月）
- 一、原価主義の教義性について（企業会計第六卷第二号 昭和二九年二月）
- 一、自己株式に関する若干の疑義と私論（税経通信第九卷第六号 昭和二九年五月）
- 一、転換社債及び転換株式の価額に関する疑義（企業会計第八卷第四号 昭和三二年四月）
- 一、動態論における貸借対照表（企業会計第九卷第八号 昭和三二年七月）
- 一、動態論における貸借対照表をめぐって（企業会計第一〇卷第二号 昭和三三年二月）
- 一、リトルトン氏の動態的貸借対照表論（産業経理第一九卷第二号 昭和三四年二月）

（會田 義雄 記）